

平成31年4月7日 奥都城春季大祭



発行所

大牟田・荒尾地区与論会
発行人・朝岡光男
TEL 0944-56-7510

第125号

令和元年

秋季大祭のお知らせ

5月15日、与論中学生徒2年生37人が、昨年に続き与洲奥都城に参拝され、川畑アキラさんが作詞作曲された「黒いダイヤの涙」を生徒全員で披露されました。

大牟田大蛇山まつりでは、今年も1万人の総おどりに与論会として50名弱の人が参加しました。

さて、左記の通り秋季大祭を行いますので、ご案内いたします。

一、とき 9月15日(日) 午前10時～12時

一、ところ 与洲奥都城前広場

注意事項

お神酒を用意しております

『飲酒運転』はくれぐれもしないようにお願い致します

与論会の動き

自 平成31年4月
至 令和元年8月

4月7日 奥都城春季大祭 約700人参加

奥都城 午前10時～12時

5月12日 奥都城清掃 7・8・9地区担当

6月9日 奥都城清掃 3・5地区担当

16日 第43回大牟田・荒尾地区与論会定期総会

新役員決まる 三港与洲会館

7月14日 奥都城清掃雨にて中止 次回合同で清掃

8月11日 奥都城清掃 4・6・10・11・15・16地区担当

お盆準備も行う

13日 奥都城お盆約200名お参り 10時～12時

▼次の方がお亡くなりになりました(敬称省略)
謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます

月日 氏名 年齢 喪主 住所

2月2日 仲野 マツノ 95歳 仲野 拓美 荒尾市桜山町2丁目13-19

4月14日 黒田 速雄 78歳 黒田ノブ子 堺市津久野町1-8-6

セントポーリア津久野1102

4月24日 山元 好文 68歳 山元 美雪 荒尾市野原593-16

(大牟田・荒尾地区与論会 幹事長)

5月5日 濱田 豊美 57歳 濱田 浩昭 大牟田市馬場町230-2

7月4日 川畑 辰栄 78歳 川畑 幸雄 大牟田市上屋敷町1-12-2

7月19日 有清 二 64歳 有 郭子 荒尾市万田387-56



5月14日 大牟田ハイツ交流会にて最後に炭坑節を全員で踊る

先祖の苦勞に祈り

春季大祭へ700人

大牟田・荒尾地区与論会(町謙二会長)は、大牟田市昭和町の与洲奥都城で春季大祭を開催し、約700人が参列。明治時代末期に長崎県口之津(現・南島原市)を経て大牟田市三池に移住し、石炭荷役作業を通じて日本の近代化を支えた先祖たちの祈りをささげた。

郷土遙拝に続いて参列者たちが「奥都城の唄」を歌って思いを寄せた。神事があり、参列者たちが一人一人玉串をささげた。町会長は「先人が移住して120年。平成も最後で5月から元号が令和になる。桜吹雪の中、これだけ多くの人が集まって先祖たちもきつと喜んでいると思う」などとあいさつした。

続いて来賓の紹介があり、映像ジャーナリストの熊谷博子さんが映画の撮影を続けていることの紹介もあった。参加者たちは和やかな雰囲気の中で交流を深め、先祖たちへの思いをはせていた。

4月12日 有明新報

まだまだ桜も散るのを惜しみ、今季最後の花見となりました春季大祭は、晴天のもと、たくさんの方々に参加いただきご先祖への思いが届いたことと思われまします。

今回も多くの皆様よりご芳志をいただいておりますので、紙面をお借りしてお礼とご報告を致します。

有難うございました。

金銭の部

物品の部

3万円	川畑ヨシ子様	清酒2本	川畑ヨシ子様
2万円	松井 武男様	清酒2本	佐藤マリ子様
1万円2千円	目原・河村・三砂・林様	清酒2本	(株)白雲社様
1万円	(株)白雲社様	清酒1本	松井 武男様
1万円	下川 博子様	焼酎2本	熊谷 博子様
1万円	南 榮子様	有泉2本	仲野装業様
5千円	猿渡恵一郎様	有泉1本	松井 康徳様
5千円	大牟田ひまわりの会様	ビール1箱	南 辰也様
5千円	沖 克太郎様	ビール1箱	堀 恵子様
5千円	仲野 美子様		
5千円	(有)山 運様		
5千円	福 弘光様		
5千円	本 恵輔様		
5千円	西脇 和江様		
3千円	竹 稔範様		
3千円	堀 泰博様		
3千円	嵐山 清治様		
2千円	林 清正様		
2千円	黒田 速雄様		
1千円	永吉 守様		

ミツシーク

トウトガナシ

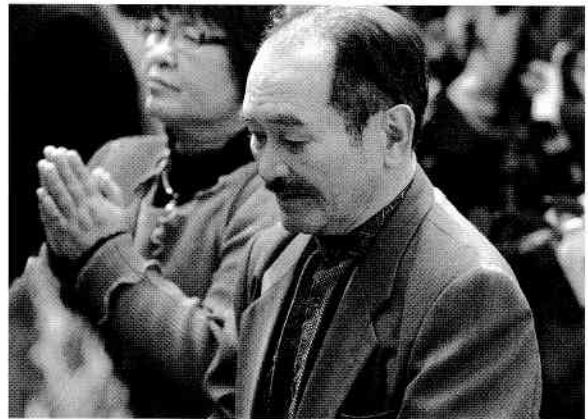
平成31年 春季大祭



平成31年 春季大祭



平成31年 春季大祭



平成31年 春季大祭



平成31年 春季大祭



平成31年 春季大祭



平成31年 春季大祭



先人の誇り 胸に刻む

与論中学生が修学旅行訪問

苦しい炭坑労働で社会貢献

鹿児島県大島郡与論町、与論中学校（大重満明校長）の2年生の生徒らは15日、修学旅行で大牟田市や荒尾市にある与論ゆかりの地を訪問。先祖たちが眠る大牟田市昭和町の納骨堂、与洲奥都城を参拝するなどして、三池炭鉱の荷役作業を通じて日本の近代化に大きく貢献した先祖たちの遺徳をしのんだ。

同校の生徒たちが修学旅行で大牟田市や荒尾市などを訪れるのは6回目。12年前に大牟田・荒尾地区与論会のメンバーらが与論の人たちと交流し、歴史を正しく伝えようと訪問団を結成して与論島を訪問。その後も交流が続いていた。

このことがきっかけとなって、先祖の歴史や当時の炭鉱町での生活の様子を学ぼうと、同校の生徒たちが2014年に初めて修学旅行で大牟田市などを訪問。以来、毎年訪れている。

今回は2年生の生徒や引率の教諭ら合わせて43人が訪問。13日に出発して長崎、島原市などを見学し、14日には大牟田で宿泊。大牟田・荒尾地区与論会のメンバーとの交流会もあった。

メインとなる15日は三池炭鉱関連施設である三川坑跡、三池港、万田坑などを見学。先人が眠る与洲奥都城では大牟田・荒尾地区与論会メンバーや市の公式キャラクター「ジャー坊」が迎え。

同会の町謙二会長は移り住んできた人たちの歩みや、与洲奥都城の成り立ちを説明。生徒たちは真剣な表情で聞き入り、先祖たち

の炭鉱町での暮らしや働きに思いをはせた。

生徒を代表して吉田小梅さんは事前に学んだことに触れ「先祖の皆さんが移住を決断しなければ今の自分たちはなかったと思う。この歴史は重要で忘れてはいけないこと。苦しい環境でも希望を持って頑張れば、道は開けることを知った。先輩方のことを忘れず、希望をもって頑張りたい」と話した。

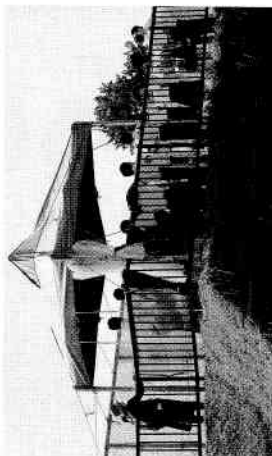
その後、2010年に三池移住百年祭のために川畑アキラさんが作詞作曲した「黒いダイヤの涙」を生徒たちが三線の演奏に乗せて合唱。先人たちへの誇りを胸に刻んだ。

5月17日 有明新報





5月15日 奥都城前にて全員で記念撮影



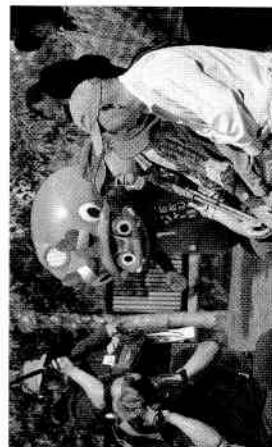
三池港展望台



奥都城館内見学



白山亭駐車場より徒歩



ジャー坊もお出迎え



5月14日 前夜祭 大牟田ハイッツにて交流会を行う

与論会 43 回定期総会

新役員決まる

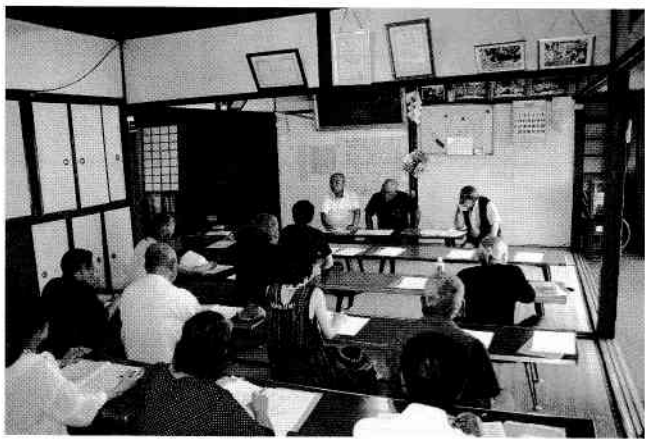
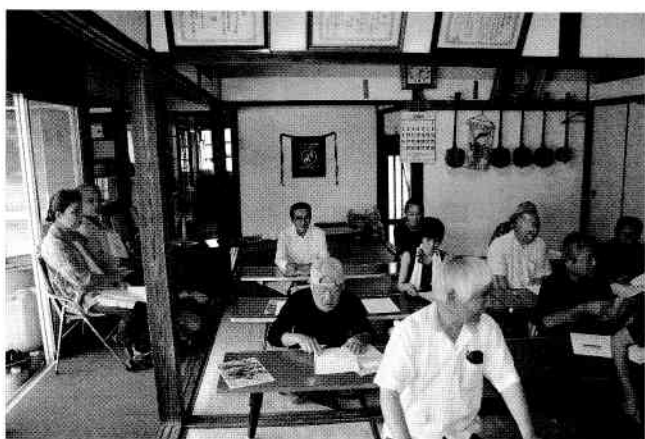
大牟田・荒尾地区与論会(町謙二会長)は6月16日、大牟田市入船町の三港与洲会館で第43回定期総会を開き、今年も大牟田大蛇山まつり「一万人の総踊り」(7月27日)に約40人が参加、会員各位の参加を呼び掛けた。

物故者への黙とうに続いて町会長があいさつ。5月14、15日与論中学生修学旅行での皆さんによる歓迎会及び交流会のお礼に続き、今回は2年に一度の役員改選の年であり、長い間、会長職を承っておりましたが、後進に譲る決意であります。新会長のもと役員一致団結をお願いしたいと呼びかけた。

昨年度の経過報告後、執行部が提出した30年度決算書、監査報告、令和元年度予算書、事業予定等は出席者満場一致で可決。引き続き役員改選を行い、新役員が次の通り決まりましたのでお知らせします。



左側新会長・朝岡光男氏



大牟田・荒尾地区与論会役員紹介

No	役職名	役員名	住 所	電 話
1	会 長	朝 岡 光 男	大牟田市櫛野3260-20	090-3666-5255
2	副 会 長	出 村 進	大牟田市入船町84	090-1192-2998
3	〃	砂 川 真佐江	荒尾市万田369	080-6417-7108
4	〃	益 山 憲 一	大牟田市馬場町249-1	090-4580-0240
5	幹 事 長	先 章 太 郎	大牟田市浜田町22-12	090-9575-9067
6	会 計 長	出 村 進	大牟田市入船町84	090-1192-2998
7	幹 事	益 山 哲 夫	大牟田市桜町4-12	090-3987-9377
8	〃	川 口 幸 雄	荒尾市宮内100-11	090-8912-2632
9	〃	黒 田 豊	大牟田市桜町110-8	090-3730-8903
10	〃	森 整 昭	大牟田市浜田町22-12	090-3734-0730
11	〃	竹 昌 宣	大牟田市三川町4丁目109-2	080-3225-9948
12	〃	村 山 章 彦	荒尾市西原町1丁目16-3 (1-3)	090-1922-3891
13	〃	梅 花 孝 佑	大牟田市天領町3-9-9	090-8620-5808
14	青 年 部 長	仲 野 英 富	大牟田市南船津町3-4-7	090-4350-7993
15	青 年 部	川 上 喜 一 郎	大牟田市米生町2-70	090-3074-8175
16	監 査	森 光 廣	大牟田市倉永	
17	〃	森 亮 子	大牟田市沖田町	
18	顧 問	町 謙 二	大牟田市姫島町	

地区長紹介

地区	地区長名	地区	地区長名
1地区	小 林 八重子	11地区	—
2地区	竹 昌 宣	12地区	黒 田 豊
3地区	仲 野 光 浩	13地区	竹 内 隆 雄
4地区	馬 場 武 弘	14地区	森 整 昭
5地区	梅 花 孝 佑	15地区	村 山 章 彦
6地区	松 井 清 一	16地区	川 口 幸 雄
7地区	黒 田 豊	17地区	野 口 隆
8地区	—	18地区	竹 内 征 夫
9地区	川 上 英 子	19地区	山 下 富 彦
10地区	本 恵 輔	20地区	酒 匂 登志明

敬称省略

大牟田・荒尾地区与論会 平成30年度決算書

(収入)

平成30年6月～令和元年5月

費目	予算	決算	内容
繰越金	640,547	640,547	前年度繰越金
与論会年会費	1,100,000	1,189,000	与論会年会費
寄付金	200,000	302,000	別紙参照
貯金利子	100	2	郵貯金利息
雑収入	10,000	18,000	購読料
敬老会収入	490,000	148,000	別紙参照
合計	2,440,647	2,297,549	

(支出)

費目	予算	決算	内容
会議費	50,000	49,481	総会費用
祭典費	250,000	232,623	春・秋大祭 正月・お盆お詣り
共済費	50,000	130,000	物故者名簿参照
渉外費	300,000	326,456	別紙参照
機関紙費	300,000	297,420	与論会だより発行(年3回発行)
事務通信費	80,000	69,195	与論会だより郵送、事務用品、文具代
奥都城維持費	50,000	61,310	電気、水道、
与洲会館費	50,000	94,921	電気・水道代、塀工事費用(40,850円)
公園使用料	70,000	63,889	奥都城借地代
清掃費	50,000	29,894	奥都城清掃茶菓子代
役員研修費	50,000	37,308	役員慰労会(会場トントン)
敬老会支出	1,360,000	632,081	別紙参照
青年部費	0	0	
故郷芸能継承費	0	0	
備品費	0	0	
不足金	-219,353	272,971	次年度繰越金
合計	2,440,647	2,297,549	

平成30年度寄贈者名

平成30年6月1日～令和元年5月31日

金銭寄贈者名			物品寄贈者名			
月日	金額	お名前		お名前	品物	数量
			4月7日	5,000	猿渡恵一郎	
				5,000	ひまわりの会	
8月13日	10,000	川畑辰榮		5,000	福弘光	
	3,000	堀泰博		5,000	本恵輔	
	3,000	本紀代司		5,000	西脇和江	
	2,000	野田秀雄		5,000	山運	
9月16日	12,000	目原・河村・三砂・林		3,000	竹稔範	
	10,000	白雲社		3,000	嵐山清次	
	10,000	野田輝文		3,000	堀泰博	
	10,000	川口哲治		2,000	林清正	
	10,000	南弘幸		2,000	黒田速雄	
	10,000	堀泰博		1,000	永吉守	
	10,000	南榮子	合 計	302,000		
	10,000	下川忠範・博子				
	5,000	(有)山運				
	5,000	沖克太郎				
	5,000	川畑辰榮	8月13日	仲野装業	清 酒	1本
	5,000	ひまわりの会	9月16日	白雲社	清 酒	2本
	5,000	福弘光		仲野装業	清 酒	2本
	5,000	猿渡恵一郎		尚竜一	清 酒	2本
	3,000	部落解放同盟		熊谷博子	焼 酎	2本
	2,000	林清正		堀晋一・真知子	焼 酎	2本
	2,000	竹稔範		堀恵子	ビール	1箱
	2,000	松尾タツエ	1月3日	出村信雄	泡 盛	3本
	1,000	永吉守		仲野装業	有 泉	1本
11月11日	5,000	仲野装業		山元信幸	焼 酎	1本
1月3日	5,000	濱田浩昭	4月7日	川畑ヨシ子	清 酒	2本
	3,000	兼屋ミサエ		佐藤マリ子	清 酒	2本
	3,000	堀泰博		白雲社	清 酒	2本
4月7日	30,000	川畑ヨシ子		松井武男	清 酒	1本
	20,000	松井武男		仲野装業	有 泉	2本
	12,000	目原・河村・三砂・林		山元好文	有 泉	2本
	10,000	白雲社		松井康德	有 泉	1本
	10,000	下川博子		熊谷博子	焼 酎	2本
	10,000	南榮子		堀恵子	ビール	1箱
	5,000	沖克太郎		南辰也	ビール	1箱
	5,000	仲野美子				

敬称省略

渉外費詳細

科目	内 容	支 出	累 計
旅費	全国与論会臨時理事会出席 (東京)	80,390	80,390

学 旅 行 与 論 修	奥都城参拝・お茶菓子	8,717	
	ジャー坊 ストラップ	17,200	
	生徒達との交流会 (大牟田ハイツ)	21,627	47,544

夏 祭 り	夏祭り総踊り参加費	4,000	
	夏祭り総踊り飲食代	25,754	
	ハッピー・クリーニング	12,150	41,904

そ の 他	佐藤持久様香典	10,543	
	与論教育文化訪問団餞別	10,000	
	駛馬天満宮鶯替	7,344	
	有明新報社挨拶	7,344	
	有明新報購読料	29,640	
	全国与論会会費	40,000	
	山元好文様見舞い	10,000	
	関西与論会祝儀	10,543	
	大橋克己新年会	2,000	
	山元好文様生花	19,440	
	その他	9,764	156,618
合 計			326,456

敬老会収支報告

平成30年11月11日(日) 午後1時
大牟田ガーデンホテル平安の間

収 入

項 目	単 価	人 数	計	内 容
大 人	3,000	46	138,000	有料参加者
小 中 生	2,000	5	10,000	有料参加者
寄 付 金			5,000	仲野装業様
収 入 合 計			153,000	

支 出

大 人 料 理	6,200	73	452,600	円卓食事(3時間飲み放題)
子 供 料 理	3,700	5	18,500	ハンバーグ定食
演 芸 弁 当	2,500	13	32,500	出演者
看 板 代	5,400	1	5,400	舞台垂れ幕
記 念 花 束	5,400	1	5,400	最年長者
生花スタンド	21,600	2	43,200	舞台両側
上記ガーデン支払い分			合計 557,600円	
経 費	出演者用お茶菓子代		29,761	連絡用事務通信費
踊り慰労会	会場 トント		34,720	プリンチャンとチャンプルダンサーズ
三味線お礼	5,000×2		10,000	商品券
支 出 合 計			632,081	

収 入 支 出 合 計
 153,000円 — 632,081円 = △479,081円

会計監査報告

2018年度(平成30年度)歳入・歳出の決算は、関係書類(預金通帳、現金出納簿、領収証等)により、照合検査を行った結果、適正な事務処理がなされており、決算の内容については相違ないことを認めます。

現金及び預金	27万2971円
奥都城建設剰余金	1682万3734円

令和元年 6月1日

監査 森 光廣 

監査 森 亮子 

令和元年度予算書

(収入)

令和元年6月～令和2年5月

費目	予算	内容
繰越金	272,971	前年度繰越金
与論会年会費	1,100,000	与論会年会費
寄付金	150,000	春祭り100,000 秋祭り50,000 敬老会15,000
貯金利息	100	郵貯金利息
雑収入	10,000	購読料
合計	1,533,071	

(支出)

費目	予算	内容
会議費	50,000	総会・各種会議
祭典費	250,000	新年・春・夏・秋 祭典
共済費	150,000	会員慶弔費
渉外費	400,000	全国与論会・与論庁舎落成式出席他
機関紙費	300,000	与論会だより発行(年3回発行)
事務通信費	80,000	与論会だより郵送・事務文具代他
奥都城維持費	50,000	電気、水道他維持費
与洲会館費	50,000	電気・水道代、維持費
公園使用料	65,000	奥都城借地代
清掃費	30,000	奥都城清掃茶菓子代
役員研修費	100,000	役員慰労会
青年部費	0	
故郷芸能継承費	0	
備品費	0	
予備費	8,071	
合計	1,533,071	

令和元年 大牟田夏まつり総おどり



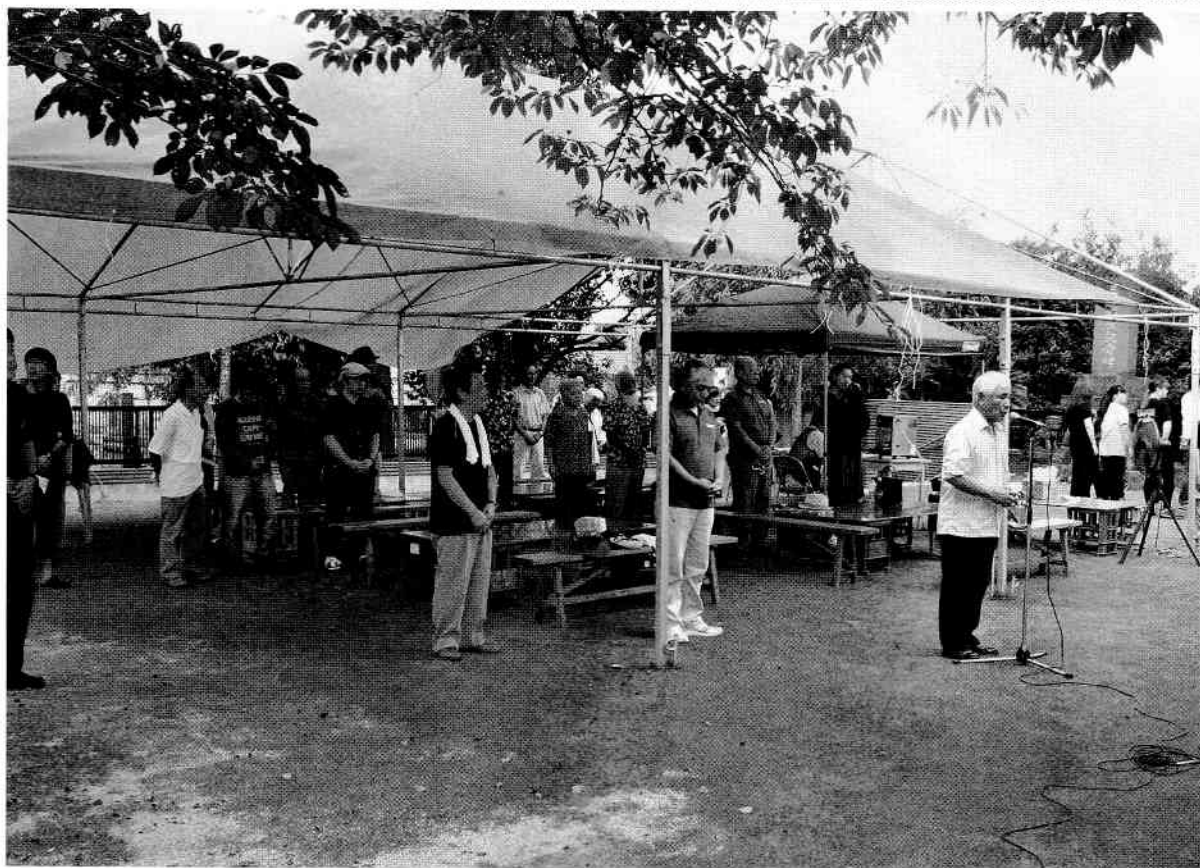
令和元年 お盆参り

8月13日、与洲奥都城にてお盆参りを行い、記帳者名で約200名の方々にご参加いただき、ご先祖参りを致しました。竹昌宣さんの祝詞の後、役員が用意した酒肴品や生ビール、子供向けのかき氷や綿菓子を楽しんでいただきました。

毎年この日は奥都城を開放しております。時間は午前10時より正午迄です。皆様のお参りをお待ちしております。

今回も皆様方からご芳志をいただきましたので、ご報告いたします。ありがとうございます。

- 5千円 山元 美幸様 (7/27)
- 1万円 濱田 浩昭様
- 3千円 仲野 美子様
- 3千円 堀 泰博様
- 2千円 野田 修三様
- 竹内 一徳様 有泉1本 (25度)
- 仲野 装業様 有泉1本
- 朝岡 光男様 有泉1本



故・山元好文さん 在りし日の写真



平成31年 4月7日



平成31年 4月7日



平成27年 7月25日



平成25年 7月27日



平成27年 7月25日

大牟田高校柔道部 金鷲旗準優勝

「ああ」。まず漏れたのは、ため息だった。大牟田高校柔道部が金鷲旗高校柔道大会の決勝で敗れた瞬間。だが、間を置かず胸から拍手を送った。「よく頑張った。立派な成績。頭を上げて胸を張ってくれ」と▼今大会の男子の部には国内外の317チームが参加。高校柔道日本一を争う伝統ある大会だ。大高柔道部はEパートに組み込まれ、順当に力を発揮して8校で争う決勝トーナメントに進出。さすがにここまでくると、簡単には勝たせてくれない▼それでも大高は粘りの柔道で強豪を次々と打ち破り、決勝戦へ進出。相手は3月の高校選手権大会と同じ国士館。試合はお互いに一步も譲らない息をのむ展開に。勝負は大将戦へともつれ込むことになった▼大高の大将は森健心選手。国士館は斉藤立選手。父親はオリンピック95^キ超級で2連覇を達成した斉藤仁^ニさん。身長は190^{センチ}を超え、恵まれた体格だ。森選手の身長は177^{センチ}と圧倒的に不利な状況▼森選手は果敢に攻めた。しかし相手の懐の深さや腰の重さもあり、完全には攻めきれない。格闘技では身長10^{センチ}、体重10^キの差でそれぞれ武器一つ分違うともいわれる。見ていると「これが同じ体格ならば」と何度も思った▼最終的には反則負け。勝った斎藤選手も「内容は満足できるものではなかった」。森選手はインターハイに向けて「次は、勝ちます」と誓った。大型選手は不在ながら、個々の力を合わせて準優勝した大高に、大きな拍手を送りたい。次の目標はインターハイで全国制覇。迷いはないだろう。がんばれ。

7月26日 有明新報 むつごろうより



森健心選手 インターハイ 個人戦 優勝

大牟田市草木の大牟田高校柔道部(杉野健次郎監督)は、8月10日、鹿児島県鹿児島市で開かれている全国高校総合体育大会(インターハイ)の柔道競技大会男子団体に出場した。決勝戦で国士館(東京都)と対戦し、代表戦の末に惜敗。敗れはしたがインターハイでは初の準優勝に輝いた。

男子団体は9日から開かれた。大牟田は初日の1回戦から3回戦までトーナメントを勝ち上がると、2日目は準々決勝で東海大相模(神奈川県)を2-1で抑え、準決勝は岡山県作陽を3-1とし決勝に進出。

決勝戦は、春の選手権大会や金鷲旗大会でも、決勝で対戦した国士館と激突。リベンジを誓って臨んだ大牟田は先鋒、次鋒で勝利を収め、2-0と有利に。中堅は引き分けたが、副将、大将戦で敗れ、勝敗の行方は代表選へ。

代表選では、国士館の絶対的エース斉藤立選手と森健心選手が対戦。気迫で押す森選手だったが、体格差を生かして攻めた斎藤選手に敗れ、準優勝となった。

大牟田市の中尾昌弘市長は「これまでのリベンジを果たす上で大きなプレッシャーになったと思うが、準優勝は一丸となって積極果敢に戦った見事な成果。今後も選手の皆さんがそれぞれの目標に向かって進むことを大いに期待します」とコメントを寄せた。

8月12日 有明新報

個人戦では100^キ級 森健心選手(福岡・大牟田) 決勝戦で金沢聡瑠(千葉・木更津総合)に反則勝ちにて優勝。